

長崎県オリジナルランキュラス「ラナモネ®」を紹介します

全域

ラナモネとは
「ランキュラス」と
「アネモネ」から作成し
た造語

長崎県農林技術開発センターにおいて「ランキュラス」と「アネモネ」を交配して育成した**本県オリジナル**のランキュラスで、“新しいランキュラス”をイメージして命名。

品種名：【シュー】
花弁の表面はクリーム色、裏面は明るい黄緑色で花弁の周縁が弱く波打ち、花形が丸く可愛いらしい



品種名：【レイ】
花弁はギザ弁で表面の色は明赤紫、裏面は紫赤の地に暗紫赤の紋りが入り、従来にない花色、花形が魅力

交配元のランキュラスは、近年需要が拡大している冬季草花で、低温に強く、本県では、カーネーションや他の草花生産者の経営に組み込む品目として注目されています。ランキュラスは、世界で育種や栽培・流通が行われています。今後も、長崎県の気候に合う商品性が高い品種の育成や栽培等を支援していきます。

※「ラナモネ®」(登録商標)は、長崎県ランキュラス研究会が独占して使用できる名称で、他県では使用できません。

「にこまる」「なつほのか」で暑さに負けない米づくり

全域

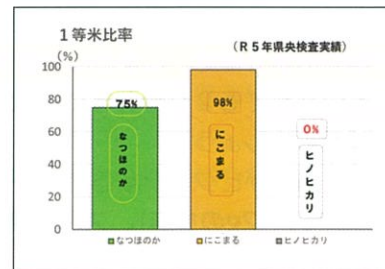
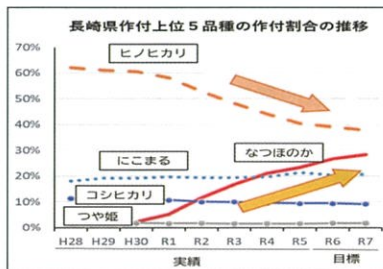
昨年の夏の猛暑の影響で、令和5年産の1等米比率は、品種によって大きな差がありました。

県央地域の一等米比率は、「にこまる」98%、「なつほのか」75%、ヒノヒカリ0%となりました。

「にこまる」や「なつほのか」は、昨年のような猛暑でも品質が良く、粒も大きく収量性も高い高温耐性品種です。

さらに「なつほのか」は、収穫時期がヒノヒカリより10日ほど早いことから、他の品種との組み合わせで収穫時期の労力分散や麦や野菜等との2毛作にも適しています。

「にこまる」や「なつほのか」を作付けし、猛暑に負けないおいしい米づくりを行いましょう。



農泊(グリーン・ツーリズム)に取り組んでみませんか?

県農林部農山村振興課

農山村の美しい景観、緑豊かな田園、伝統文化等の地域資源を活用して行う農泊に注目が高まっています。

県では、農泊の開業を検討している方向けのセミナーや、農泊実践者間の交流を目的としたイベントを開催しています。農泊に興味のある方はお気軽にご相談ください。



るーらる長崎

検索

【問合せ先】 長崎県農山村振興課 担当：水流(つる) TEL：095-895-2915